本書は、旧製品の取扱説明書を電子化したものです。
一部見えにくい箇所がございます。

記載されている内容はすべて販売当時のものです。
仕様や価格などは、その後予告なしに変更されることがあります。
あらかじめご了承ください。

1798・2301

このたびは弊社製品をお買い上げくださいまして、誠にありがとうございます。末長くご愛用いただくために、この説明書をよくお読みいただき、正しくお取り扱いくださいますようお願い申し上げます。
なお、この説明書は大切に保管し、必要に応じてご覧ください。
本機のお取り扱いで、万一、誤ったボタン操作を行なっても、製品に障害を与えることは一切ありません。本機の特長、機能を十分に楽しんでいただくためにも、ご納得のゆくまでお試しください。

◆本機の特長◆

- ●アナログ&デジタル時計
  アナログとデジタル時計で時刻を表わします。
- ●ELバックライト
  暗いところでもボタン1つで表示を明るく照らします。
- ●ストップウオッチ機能
  シングルストップウオッチとデュアルストップウオッチの2種類があり、ラップタイム計測を行ないます。また、上位5本のデータ（ラップタイム／平均時速）を見ることができます。
- ●デュアルタイム表示
  現在時刻とは別にもう1つの時刻を表示させることができます。
- ●アラーム・時報報知
  任意の時刻にアラームを鳴らすことや、毎正時に時報を鳴らすことができます。

カシオ計算機株式会社

MA9910-000902A

安全上のご注意

絵表示について　この注意書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、色々な絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

⚠ 危険	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
⚠ 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△ 記号は「気をつけるべきこと」（注意）を意味しています。（左の例は感電注意）

⃠ 記号は「してはいけないこと」（禁止）を意味しています。（左の例は分解禁止）

● 記号は「しなければならないこと」（強制）を意味しています。（左の例は電源プラグをコンセントから抜く）

⚠ 警告

本機をスキューバダイビング（アクアラング）に使用しないでください。
※本機はダイバーズウオッチではありません。誤って使用すると、事故の原因となります。

電池の取り扱いについて

本機で使用しているボタン電池を取り外した場合は、誤ってボタン電池を飲むことがないようにしてください。特に小さなお子様にご注意ください。
電池は小さなお子様の手の届かない所へ置いてください。万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談して下さい。

⚠ 注意

お手入れについて

ケース・バンドは汚れからサビが発生し、衣服の袖口を汚すことがあります。ケース・バンドは常に清潔にしてご使用ください。特に、海水に浸した後放置しておくとサビ易くなります。

⚠ 注意

かぶれについて

時計の本体およびバンドは、直接肌に接触していますので、使用状態によってはかぶれを起こす恐れがあります。

① 金属・皮革に対するアレルギー
② 時計の本体およびバンドの汚れ・サビ・汗等
③ 体調不良等

- バンドをきつくしめると、汗をかきやすくなり、空気の通りが悪くなりますのでかぶれ易くなります。バンドは余裕をもたせてご使用ください。
- 「抗菌バンド」は汗などによる細菌の繁殖を抑えるもので、皮膚のかぶれを防ぐものではありません。
- 万一、異常が生じた場合は、ご使用を中止し、医師にご相談ください。

分解しないでください

本機を分解しないでください。ケガをしたり、本機が故障する原因となることがあります。

ライト点灯について

どのモード（セット中は除く）でも、

Ⓛボタンを押します

→約４秒間デジタル部が発光します。

※暗いところでも、デジタル部の表示を見ることができます。

<時刻モード>

＜EL発光についてのご注意＞

- 直射日光下では、発光が見えにくくなります。
- 発光中でもアナログ（針）部の表示は見えにくくなります。
- 発光中にいずれかのボタンを押したり、アラームなどが鳴り出すと発光を中断します。
- 発光中に時計本体より音が聞こえることがありますが、これはELパネルが点灯する際の振動音であり、異常ではありません。

目　次

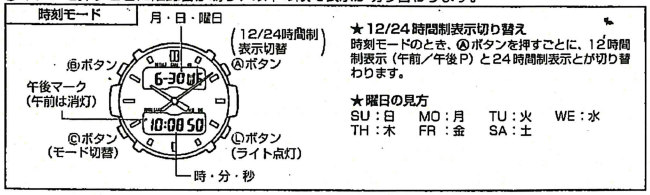
安全上のご注意

ライト点灯について	3
操作のしくみと表示の見方	4
ストップウオッチの使い方	6
デュアルタイムの使い方	12
アラーム・時報の使い方	13
時刻・カレンダーの合わせ方	15
製品仕様	17
ご使用上の注意	18
お手入れについて	19
電池交換について	20

操作のしくみと表示の見方

※機種により形状は異なります。
※本書の表示例は、モジュール1798を使用しています。（モジュール番号は時計本体裏面に刻印されています）

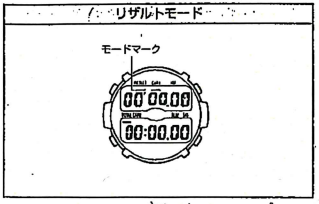
Ⓒボタンを押すごとに確認音が鳴り、以下の順で表示が切り替わります。

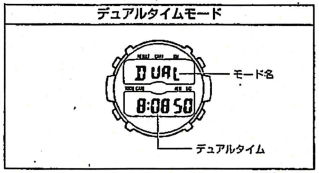


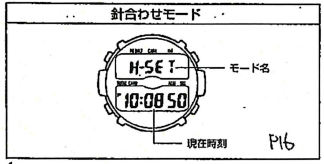
★12/24時間制表示切り替え
時刻モードのとき、Ⓐボタンを押すごとに、12時間制表示（午前／午後P）と24時間制表示とが切り替わります。

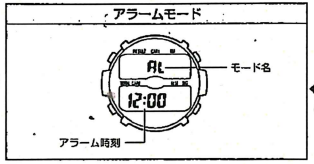
★曜日の見方
SU：日　MO：月　TU：火　WE：水
TH：木　FR：金　SA：土

Ⓒ ※以下アナログ（針）部省略

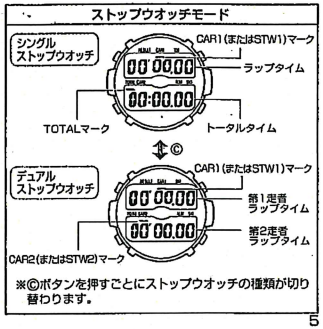








●ストップウオッチモード切り替え
どのモードのときでも、Ⓒボタンを約１～２秒間押し続けると、ストップウオッチモードになります。
※ストップウオッチモードのときに、Ⓒボタンを約１～２秒間押し続けると時刻モードに戻ります。



※Ⓒボタンを押すごとにストップウオッチの種類が切り替わります。

ストップウオッチの使い方

ストップウオッチの種類を選ぶ

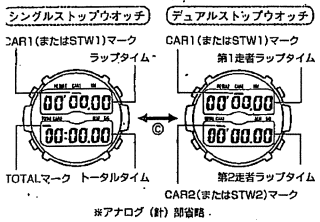
本機のストップウオッチは<シングルストップウオッチ>と<デュアルストップウオッチ>の２種類があります。

準備：どのモードのときでも、Ⓒボタンを約１～２秒間押し続けてストップウオッチモードにします。

ストップウオッチモードのとき、Ⓒボタンを押します

→Ⓒボタンを押すごとに、ストップウオッチの種類が切り替わります。

※計測中にⒸボタンを押しても表示は切り替わりません。

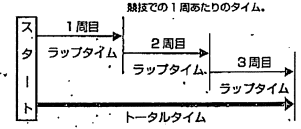


※アナログ（針）部省略

シングルストップウオッチ

ラップタイムとトータルタイムを計測します。

* ラップタイム…任意の区間（周回競技では１周分）を進むのに要する時間。
  例：陸上、モータースポーツなどの周回競技での１周あたりのタイム。

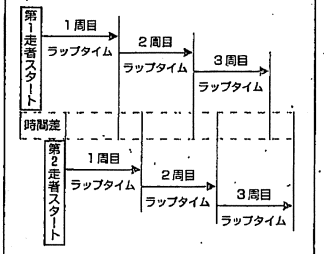


ラップタイム（上段に表示）
計測単位＝１／100秒
計測範囲＝59分59秒99（60分計）
※計測範囲を超えると、"－－'－－.－－"表示となります。（このときのラップタイムは記憶されません）

トータルタイム（下段に表示）
計測単位＝１秒
計測範囲＝23時間59分59秒（24時間計）
ラップ数＝１～99回
※計測範囲を超えると、以後０に戻って繰り返し計測を続けます。

デュアルストップウオッチ

別々にスタートした第１走者と第２走者のラップタイムを計測します。また、時間差を自動的に表示します。



ラップタイム（上段と下段にそれぞれ表示）
計測単位＝１／100秒
計測範囲＝59分59秒99（60分計）
※計測範囲を超えると、"－－'－－.－－"表示となります。（このときのラップタイムは記憶されません）

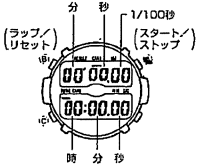
★ラップタイム計測を行なうと、そのときの上位5本のラップタイムとラップ番号を記憶し、リザルトモードで見ることができます。
※表示できるのは前回計測したシングルストップウオッチまたはデュアルストップウオッチのどちらか一方のデータ５本です。
（10ページ、「■計測したデータを見る」参照）

★リザルトモードで区間距離（周回競技では１周分の距離）をセットすると、計測したラップタイムから自動的に平均時速が計算されます。
（10ページ、「■平均時速表示について」参照）

シングルストップウオッチの使い方

準備：ストップウオッチモードのとき、Ⓒボタンを押してくシングルストップウオッチ>にします。

★Ⓐボタンを押すごとに計測がスタート／ストップします。
★計測ストップ後Ⓑボタンを押すと、計測値が０に戻ります。（リセット）
★ロスタイムのある場合は、ストップ後リセットせずにⒶボタンを押して再スタートすれば、表示タイムに引き続き計測を始めます。（積算計測）
★計測中にⒷボタンを押すごとにラップタイムを計測します。



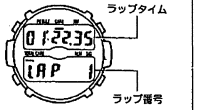
通常計測

Ⓐ（スタート）→ Ⓐ（ストップ）→ Ⓑ（リセット）

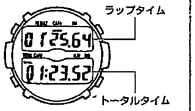
ラップタイム計測

Ⓐ（スタート）→ Ⓑ（第１ラップ）→ Ⓑ（第２ラップ）…… Ⓐ（ストップ）→ Ⓑ（リセット）

Ⓑボタンを押したときのラップタイムとラップ番号が４秒間表示されます。（この間内部では計測を続けています）



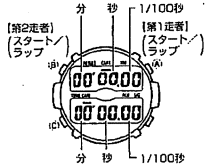
計測がストップし、終了時のラップタイムとトータルタイムが表示されます。（このときのデータは記憶されません）



デュアルストップウオッチの使い方

準備：ストップウオッチモードのとき、Ⓒボタンを押してくデュアルストップウオッチ>にします。

★Ⓐボタンを押すと第１走者の計測がスタートします。以後、Ⓐボタンを押すごとにラップタイムを計測します。
★Ⓑボタンを押すと第２走者の計測がスタートします。以後、Ⓑボタンを押すごとにラップタイムを計測します。
★ⒶまたはⒷボタンを１～２秒間押すと計測が止まり、計測値が０に戻ります。（リセット）

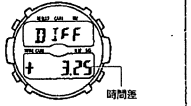


ラップタイム計測

【第１走者】Ⓐ（スタート）→ Ⓐ（第１ラップ）→ Ⓐ（第２ラップ）…… ⒶまたはⒷ（１～２秒）（リセット）

【第２走者】Ⓑ（スタート）→ Ⓑ（第１ラップ）→ Ⓑ（第２ラップ）……

第１走者の計測スタート後、第２走者の計測をスタートさせると、時間差が4秒間表示されます。
（この間内部では計測を続けています）



第１走者のラップ計測を行なうと、そのときのラップタイムが４秒間表示されます。
その後、第２走者のラップ計測を行なうと時間差が４秒間表示されます。
（この間内部では計測を続けています）

※時間差が10分以上になったときは、"－－'－－.－－"表示となります。

※第１走者と第２走者の順位が入れ替わったときは、時間差は－（マイナス）で表示されます。

※第１走者と第２走者が同一周回でない場合は、＋（プラス）、－（マイナス）は表示されません。

㊐計測したデータを見る

ラップタイム計測したときの上位５本のデータをリザルトモードで見ることができます。

※表示できるのは前回計測したシングルストップウオッチまたはデュアルストップウオッチのどちらか一方のデータです。

準備：時刻モードのとき、Ⓒボタンを１回押してリザルトモードにします。

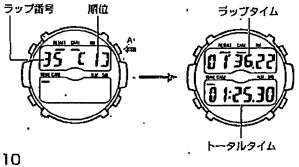
㊑データの呼び出し

リザルトモードのとき、 Ⓐボタンを押します

➡Ⓐボタンを押すごとに、1位から順番にタイムを表示します。

※表示を切り替えた直後は、順位とラップ番号を1秒間表示します。

例）シングルストップウオッチで計測を行なったとき



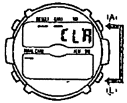
㊒データを消す

新しい計測を始めると、前回記憶したデータは自動的に消されますが、任意に以下の方法で消すこともできます。

リザルトモードのとき、

Ⓐボタンと Ⓛボタンを同時に押します

➡"CLR"と表示され、記憶されているすべてのデータが消されます。



㊓平均時速表示について

区間距離（周回競技では１周分の距離）をセットすると、計測したラップタイムから自動的に平均時速が計算されます。

※表示できるのは前回計測したシングルストップウオッチまたはデュアルストップウオッチのどちらか一方のデータ５本です。

準備：時刻モードのとき、Ⓒボタンを１回押してリザルトモードにします。

㊔区間距離の設定

(1) リザルトモードのとき、

Ⓑボタンを約1～2秒間押します

➡区間距離の「小数点以上」が点滅します。

(2) Ⓒボタンを押します

➡Ⓒボタンを押すごとに「整数」「小数点以下」が交互に点滅します。点滅箇所の数字をセットできます。

(3) セット箇所を選びましたら、

Ⓛまたは Ⓐボタンを押します

➡Ⓛボタンを押すごとに数字が進み、Ⓐボタンを押すごとに戻ります。

※Ⓛ・Ⓐボタンはそれぞれ押し続けると早く進みます。

※区間距離は0.01km単位で、0.01～99.99の範囲内でセットできます。

(4) セットが終わりましたら、

Ⓑボタンを押します

➡点滅が止まり、セット完了です。

※点滅表示のまま１～２分すると、自動的に点滅が止まります。

㊖平均時速を見る

(1) リザルトモードのとき、 例）シングルストップウオッチで計測を行なったとき

Ⓐボタンを押します

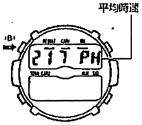
➡Ⓐボタンを押すごとに、1位から順番にタイムを表示しますので見たい表示を選びます。

(2) Ⓑボタンを押します

➡平均時速を表示します。

※0～999km/hの範囲内で表示します。

※もう一度Ⓑボタンを押すと、リザルトモードに戻ります。



＜時速が"Err PH"表示（エラー）となるとき＞

時速の計算結果が999を越えたときは、正しく時速計算ができず、"Err PH"表示（エラー）となります。

デュアルタイムの使い方

デュアルタイムとは、現在時刻とは別に海外時刻などもう１つの時刻をセットできる機能です。

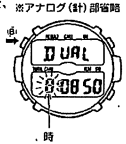
※デュアルタイムの「秒」はホームタイムの「秒」に連動して表示されます。

㊀デュアルタイムの合わせ方

(1) デュアルタイムモードのとき、 ※アナログ（針）部省略

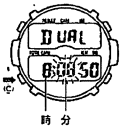
Ⓑボタンを約1～2秒間押します

➡デュアルタイムの「時」が点滅します。



(2) Ⓒボタンを押します

➡Ⓒボタンを押すごとに「時」「分」が交互に点滅します。点滅箇所の数字をセットできます。



(3) セット箇所を選びましたら、

Ⓛまたは Ⓐボタンを押します

➡Ⓛボタンを押すごとに数字が進み、Ⓐボタンを押すごとに戻ります。

※Ⓛ・Ⓐボタンはそれぞれ押し続けると早く進みます。

★「時」のセットのとき午前／午後（P）にご注意ください。

★ホームタイムを24時間制表示にしているときは、デュアルタイムも自動的に24時間制表示となります。

(4) セットが終りましたら、

Ⓑボタンを押します

➡点滅が止まり、セット完了です。

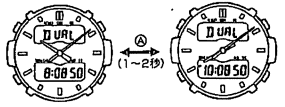
※点滅表示のまま１～２分すると、自動的に点滅が止まります。

★ホームタイムとデュアルタイムの時刻切り替え

デュアルタイムモードのとき、Ⓐボタンを約１～２秒間押すと、ホームタイムとデュアルタイムの時刻を切り替えることができます。

※時刻切り替えを行なうと、アナログ部の分針が正転方向（進む方向）に進み、自動的にホームタイムの時刻に設定されます。

※もう一度Ⓐボタンを約１～２秒間押すと、元の表示に戻ります。



例）ホームタイム
→ 午後10：08
デュアルタイム
→ 午前8：08

例）ホームタイム
→ 午前8：08
デュアルタイム
→ 午後10：08

アラーム・時報の使い方

アラームは分単位でセットでき、セットした時刻になると20秒間の電子音で知らせます。また、毎正時（00分）に時報を鳴らすこともできます。

※アラーム・時報はホームタイムに合わせて鳴ります。

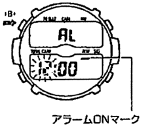
㊁アラーム時刻のセット

(1) アラームモードのとき、 ※アナログ（針）部省略

Ⓑボタンを約1～2秒間押します

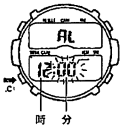
➡アラーム時刻の「時」が点滅します。

※アラームONマークが点灯します。



(2) Ⓒボタンを押します

➡Ⓒボタンを押すごとに「時」「分」が交互に点滅します。点滅箇所の数字をセットできます。



(3) セット箇所を選びましたら、

Ⓛまたは Ⓐボタンを押します

➡Ⓛ ボタンを押すごとに数字が進み、Ⓐボタンを押すごとに戻ります。

※Ⓛ・Ⓐボタンはそれぞれ押し続けると早く進みます。

★「時」のセットのとき午前／午後（P）にご注意ください。

★ホームタイムを24時間制表示にしているときは、アラーム時刻も自動的に24時間制表示となります。

(4) セットが終わりましたら、

Ⓑボタンを押します

➡点滅が止まり、セット完了です。

※点滅表示のまま1～2分すると、自動的に点滅が止まります。

鳴っている電子音を止めるには

電子音が鳴っているときに、いずれかのボタンを押すと、音が止まります。

★「時」のセットのとき午前／午後（P）または24時間制にご注意ください。

★年は西暦で1995～2039年までセットできます。

★カレンダーはうるう年および大の月、小の月を自動判別するフルオートカレンダーですので、電池交換時以外は直す必要はありません。

(2) セットが終わりましたら、 Ⓑボタンを押します

➡点滅が止まり、セット完了です。

※点滅表示のまま1～2分すると、自動的に点滅が止まります。

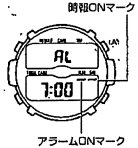
★デジタル部の時刻を修正すると、アナログ部の分針が、修正した分だけ、自動的に正転方向（進む方向）に進みます。（針は逆方向には進みません）

アラーム・時報のON/OFFの設定

アラームモードのとき、

Ⓐボタンを押します

➡Ⓐ ボタンを押すごとに、マークが点灯／不点灯します。それぞれのマークが点灯しているときが"ON"となり、アラーム・時報が鳴ります。



※なお、Ⓑボタンを押してアラーム時刻のセットを行なうと、自動的にアラーム"ON"に設定されます。

モニターアラーム（アラーム音を選ぶ）

アラームモードのときⒶボタンを押し続けると、押し続けている間、アラーム音が鳴ります。

※アラームモードで、Ⓐボタンを押し続けている間、Ⓛボタンを押すごとに電子音が4段階で切り替わりますので、お好きな音を選べます。

アナログ（針）部の合わせ方

電池交換後など、アナログ時刻が合っていないときは、以下の手順でアナログ時刻を合わせてください。

準備：Ⓒボタンを4回押して針合わせモードにします。

(1) Ⓑボタンを約1～2秒間押します

➡デジタル部に現在時刻が表示され、点滅します。

(2) Ⓛボタンを押します

➡分針が正転方向（進む方向）に進みますので、デジタル部の時刻と同じ時刻を表示させます。

※Ⓛボタンを一回押すと、1/3分（20秒）進みます。

※押し続けると早く進みます。（針は逆方向には進みません）

★分針の自動早送り

Ⓛボタンを押し続けている間、Ⓐボタンを押すと、分針が自動的に早く進みます。

※いずれかのボタンを押すと分針が止まります。

※時針が一回りすると早送りが止まります。

(3) セットが終わりましたら、 Ⓑボタンを押します

➡点滅が止まり、セット完了です。

※ 点滅表示のまま1～2分すると、自動的に点滅が止まります。

時刻・カレンダーの合わせ方

電池交換後などで、時刻・カレンダーが合っていないときは、以下の手順で合わせてください。

デジタル部時刻の合わせ方

(1) 時刻モードのとき、

Ⓑボタンを約1～2秒間押します

➡「秒」が点滅します。

❹「秒」合わせ…±30秒以内の遅れ／進みの調整

時報に合わせて、Ⓛボタンを押します

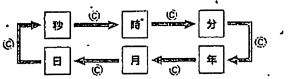
➡「00」秒からスタートします。

秒が00～29のときは切り捨てられ、30～59のときは1分繰りあがって「00」秒になります。（時報は「時報サービス電話117番」が便利です）

❺「時刻・カレンダー」合わせ

a. Ⓒボタンを押します

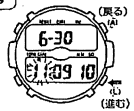
➡点滅箇所が以下の順で移動します。点滅箇所がセット可能ですので、Ⓒボタンを押してセットしたい箇所を選びます。



b. Ⓛまたは Ⓐボタンを押します

➡Ⓛ ボタンを押すごとに点滅箇所の数字が進み、Ⓐボタンを押すごとに数字が戻ります。

※Ⓛ・Ⓐボタンとも押し続けると早く進みます。



上記a、bの操作を繰り返して「時刻・カレンダー」を合わせます。

製品仕様

水晶発振周波数：32,768Hz

精　　度：平均月差±20秒以内

基本機能：時刻表示
アナログ部＝時・分（2針）
デジタル部＝時・分・秒、午前／午後（P）／24時間制表示

カレンダー表示
月・日・曜日、フルオートカレンダー（1995～2039年）

ストップウオッチ機能：シングルストップウオッチ
ラップタイム…
計測単位＝1／100秒
計測範囲＝59分59秒99（60分計）
トータルタイム…
計測単位＝1秒
計測範囲＝23時間59分59秒（24時間計）
ラップ数＝1～99回

デュアルストップウオッチ
ラップタイム…
計測単位＝1／100秒
計測範囲＝59分59秒99（60分計）

上位5本のラップタイム表示、平均時速計算、区間距離セット機能

デュアルタイム機能：表示内容＝時・分・秒
ホームタイムとデュアルタイムの切り替え機能

アラーム機能：時刻アラーム　セット単位＝時・分
電子音20秒間
時報　毎正時に2回電子音で報時

その他：自動復帰機能、12／24時間制表示切り替え、EL（エレクトロルミネッセンス）バックライト

主要回路素子：音叉型高性能水晶振動子CMOS-LSI

使用電池：時計用＝SR920W×1
ライト用＝SR621W×1
※電池は別途販売です。なお、電池はカシオ指定のものをお使いください。

電池寿命：時計用＝約2年（1日当たり電子音を20秒間使用した場合）
ライト用＝約2年（1日当たりライトを4秒間使用した場合）
●ただし、ライトの使用条件によりライト用の電池寿命が短くなることがあります。
・1日当たりライト8秒間使用…約1.3年

ご使用上の注意

防水性

●表面または裏蓋に WATER RESIST または WATER RESISTANT と表示されているもの。

	8AR 風し	5BAR	10BAR	20BAR
洗顔、雨	○	○	○	○
水仕事、水泳	×	○	○	○
ウインドサーフィン	×	×	○	○
スキンダイビング（潜り）	×	×	○	○

※「BAR」は気圧の意味で、防水性の高さを表わします。
※専門的な潜水＝スキューバダイビング（アクアラング）でのご使用はお避けください。
●表面または裏蓋に WATER RESIST または WATER RESISTANT と表示されていないもの。
防汗構造になっておりませんので、多量の汗を発する場合、もしくは湿気の多い場所でのご使用や直接水に触れるようなご使用はお避けください。
●防水構造の機種でも、水中でのボタン操作は行なわないでください。
●防水構造の機種はシャワー程度の温水では使用できますが、入浴等で長時間使用することはお避けください。
●海水に浸したときは真水で洗い、塩分や汚れをふきとってください。
●防水性を保つために定期的（2～3年を目安に）なパッキン交換をおすすめします。
●電池交換の際、防水検査を行ないますので、必ずお買い上げの店あるいは最寄りのカシオテクノ・サービスステーションにお申し付けください。（特殊な治具を必要とします）

●防水時計の一部にデザイン上皮バンドを使用しているモデルがありますが、皮バンド付の状態で、水仕事・水泳など直接水のかかるご使用はお避けください。

バンド

●バンドは指一本が入る程度の余裕をもたせてご使用ください。
●樹脂バンドも皮バンド同様、日々の使用により劣化し、切れたり折れたりする場合があります。バンドにヒビなどの異常がある場合は、必ず新しいバンドと交換してください。そのときは、お買い上げ店または最寄りのカシオテクノ・サービスステーションにバンド交換をお申し付けください。保証期間内であっても実費にて申し受けます。
●樹脂バンドの表面にシミ状の模様が発生することがありますが、人体および衣服への影響はありません。また、布等で簡単に拭き取ることができます。

温度

●自動車のダッシュボード等の高温になる所に放置しないでください。また、寒い所に長く放置しないでください。遅れ、進みが生じたり、止まったりすることがあります。
●+60℃以上の所に長時間放置すると液晶パネルに支障をきたすことがありますのでご注意ください。

ショック

●腕につけたままでモトクロス、チェーンソー、削岩機などの強い振動を受けても時計には影響ありません。
●腕につけたままで激しいスポーツなどでのショックが加わっても時計には影響ありません。

磁気

●（JIS 1種耐磁時計）本機は磁気の影響を受けにくい構造をとっておりますが、強い磁気を発生する器具に密着、あるいは近づけることはお避けください。強い磁気の影響を受けると一時的に進み遅れが生じることがあります。

薬品類

●水銀や化学薬品（シンナー、ガソリン、各種溶剤、またはそれらを含有しているクリーナー、接着剤、塗料、殺菌剤、化粧品類）が付着すると、ケース、バンドなどに変色や破損を生ずることがありますのでご注意ください。

保管

●長期間ご利用にならないときは汚れ、汗、水分などをふきとり、高温、多湿の場所を避けて保管してください。

液晶パネルの交換について

液晶パネルは約7年を過ぎますと、数字や文字が読みにくくなる場合があります。そのときはお買い上げ店またはカシオテクノ・サービスステーションに交換をお申し付けください。実費にて申し受けます。

万一、本機使用により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切その責任を負えませんのであらかじめご了承ください。

電池交換について

最初の電池

●工場出荷時にモニター用電池が組み込まれておりますので、配置された電池寿命に満たないうちに切れることがあります。
※モニター用電池とは時計の機能や性能をチェックするための電池のことで、時計本体価格に電池代は含まれておりません。
※電池交換の場合は保証期間内でも有料となります。

消耗

●電池が消耗しますと「時刻の狂いが目立ったり」「表示が見にくくなったり」「消えたり」します。
●消耗した電池を使っていると故障の原因になりますので、お早めに交換してください。

電池交換

●電池交換は必ずお買い上げ店または最寄りのカシオテクノ・サービスステーションにお申しつけください。
●電池は必ず当社指定の専用電池と交換してください。指定以外の電池を使用しますと故障の原因となる場合があります。
●電池交換の際、防水検査を行ないます。（防水検査は別途有料となります）

ELパネル（表示照明部）の交換について
表示照明用として本機に使用しているELパネル（エレクトロルミネッセンスパネル）は、長期間使用しますと明るさが弱くなり、光が暗く見える場合があります。このようなときにはお買い上げ店または最寄りのカシオテクノ・サービスステーションに交換をお申し付けください。実費にて申し受けます。

お手入れについて

お手入れのしかた

●時計も衣服同様、直接身につけるものです。本体ケースやバンドの汚れ、汗・水分などは吸湿性のよい柔らかい布でふきとり、常に清潔にご使用ください。
●金属バンドは、時々、部分洗いすることをおすすめします。部分洗いの際、時計本体に水がかからないようにしてください。非防水時計の場合は故障の原因となり、また防水時計でも石けん水により防水性が損われることがあります。

お手入れを怠ると

●「サビ」
・ステンレススチールはサビにくい性質ですが、汚れによりサビが発生します。
※汚れにより酸素が断たれると、表面の酸化被膜が維持できなくなり、サビが発生します。
・表面はきれいでも、すきまに付着した汚れやサビがしみ出して、衣類の描を汚すことがあります。

●「劣化」
・樹脂バンドは汗などの水分で濡れたままにしておいたり、湿気の多い場所に保管すると、劣化が早くなり、切れたり、折れたりすることがあります。

●「かぶれ」
・皮膚の弱い方やアレルギー体質の方は、かぶれたりすることがあります。特に、皮バンドや樹脂バンドをお使いの方は、こまめにお手入れをするか、金属バンドのご使用をおすすめします。
・万一、かぶれた場合には、そのバンドの着用を中止し、皮膚科の専門医にご相談ください。